

# トマトロボット競技会

## 第3回トマトロボット競技会が北九州学術研究都市の体育館において12月9日～11日に開催され九州能開大チームがシニア部門で総合優勝を果たしました。

農業の機械化が進む中、農産物の生産に更に深くロボットたちが参加できる可能性を求めて、ロボットがトマトを収穫する競技会が毎年開催されています。デリケートなトマトを相手にした競技を通じ、アグリロボットの発展を目指すと同時に、自然環境への興味とロボット技術への興味を引き起こす新たな試みです。競技は、中高生対象のジュニア部門と高専生、大学・大学院生、一般を対象としたシニア部門で行われました。

九州能開大は初出場にもかかわらず、シニア部門で総合優勝を果たしました。また、12月14日～16日に東京ビックサイトで開催された「アグリビジネス創出フェア2016」に九州能開大のロボットを出展し、多くの来場者に披露しました。



競技前の調整確認



九州能開大のロボット



優勝の楯



競技中の九州能開大ロボット



トマトを収穫中のロボット



プログラムの調整中



東京ビックサイト



表彰式で優勝の喜びを語る  
チームリーダー



参加者の記念撮影



アグリビジネス創出フェア2016会場にて、来場者に説明する学生